CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館 年報 NO.29

April2002-March2003

ANNUAL BULLETIN OF

CHIBA PREFECTURAL

MUSEUM OF ART

目　次

ごあいさつ　1
沿革　2
平成 14 年度主要記事　4

展示事業　5
　収蔵作品による企画展　6
　特別展　10
　企画展　13
普及事業　15
　美術講演会・ミュージアムコンサート・一日学芸員体験　16
　情報資料室
　実技講座・学校巡回展　17
　美術めぐりの旅・活動協力　18
　スポーツと美～こどもアートチャレンジ～　19
　さわやか千葉県民プラザ・生涯学習フェスティバル
　ワークショップ・むじゃキックサタデー
　貸出資料一覧　20

調査・収集事業　21
　収蔵資料一覧　22

管理運営・運営方針　25
　機構　26
　平成 14 年度職員・協議会委員・利用状況　27
　展示室利用団体　29
　施設　31
　関係法令等　35
利用案内　36

ごあいさつ

平成１４年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和４９年の開館以来、近代美術館及び地域美術館としての活動を通し、県民のさまざまな美術に対する要望にこたえるよう努めてまいりました。

平成１４年度は、特別展として、「英国ロマン主義絵画展」を開催し、イギリスを代表する国立美術館であるヴィクトリア＆アルバート美術館の所蔵作品の中から、油彩、水彩、素描など約１２０点を展示し、１８世紀から２０世紀末に至る英国ロマン主義絵画の流れと魅力を紹介しました。また、企画展としては、「こどものための展覧会２００２」、「触れる美術展」を開催しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による企画展を開催したほか、県内２ヶ所において移動美術館を実施しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため、「ワークショップ」、「一日学芸員体験学習」、「学校巡回展」を開催しました。また、美術の各分野にわたる実技講座を実施し、ますます高まっている県民の美術創作への意欲にこたえてまいりました。

作品の収集にあたっては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実化を図りました。今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方のご指導とご支援をお願いいたします。

平成１５年９月

千葉県立美術館長
米田　耕司

沿　　革

千葉県立美術館は、昭和43年にまとめられた県立博物館設置構想に基づき建設計画をすすめ、昭和48年４月教育庁文化課に美術館準備室を置き、開館事務に当たった。同49年３月第１期工事の展示棟が完成し、４月１日千葉県立美術館として機関設置し、10月23日開館式を挙げ、一般公開を始めた。同51年に第２期工事の管理棟が、同55年２月に第３期工事の県民アトリエ棟、更に同63年８月の増築工事で展示棟及び収蔵庫が完成した。

昭和44年12月９日	第１回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）
昭和45年１月19日	県立美術館建設の請願書が２月県議会で採決
昭和45年７月24日	建設地として千葉公園に内定
昭和45年11月12日	第１回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）
昭和46年３月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立
昭和46年６月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示
昭和47年１月５日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換
昭和47年３月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）
昭和47年７月31日	展示棟第１期工事の実施設計完了
昭和47年９月21日	展示棟杭打工事着工
昭和47年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決
昭和47年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和48年４月１日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始
昭和48年11月30日	管理棟（第２期工事）の実施設計完了
昭和49年３月31日	展示棟竣工
昭和49年４月１日	千葉県立美術館発足（職員14名）
昭和49年10月23日	開館記念式典開催
昭和49年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始
昭和50年２月21日	管理棟杭打工事着工
昭和50年３月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決
昭和50年３月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和51年２月20日	管理棟竣工
昭和51年３月２日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催
昭和51年６月７日	寄付によって、正面玄関植栽
昭和52年３月12日	彫刻の野外展示開始
昭和52年４月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設
昭和53年１月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）
昭和53年２月21日	美術普及棟の準備会発足
昭和53年10月17日	美術普及棟建築予算を計上
昭和53年11月18日	浅井忠像完成除幕式
昭和53年11月30日	美術普及棟実施設計完了
昭和54年１月８日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
昭和54年３月５日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
昭和54年３月22日	県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和55年２月29日	県民アトリエ棟竣工
昭和55年３月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和55年４月１日	千葉県美術品取得基金条例施行
昭和55年９月９日	県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和58年７月29日	美術普及コーナー開設
昭和58年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和61年３月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和61年４月10日	入口門扉４ヶ所設置
昭和61年４月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和61年８月12日	講堂浸水防止工事完了
昭和62年３月25日	機械室増築基本設計及び展示

	棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)
昭和63年５月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
昭和63年８月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
昭和63年８月31日	展示棟（第８展示室)、収蔵庫（第３、４室)、機械室増築工事完了
平成元年２月28日	増築展示棟周辺芝張工事完了
平成元年４月１日	普及課が新設され、３課で業務実施
平成元年４月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
平成元年９月11日	空調機改修工事実施設計完了
平成２年６月８日	空調機改修工事完了
平成２年９月29日	収蔵庫（第１、２室）冷凍機改修工事着工
平成２年11月７日	室内標識改修工事着工
平成３年１月31日	収蔵庫（第１、２室）冷凍機改修工事完了
平成３年２月20日	室内標識改修工事完了
平成３年12月６日	空調用ポンプ改修工事完了
平成４年４月１日	運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託
平成４年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了
平成４年12月18日	食堂改修工事完了
平成６年７月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
平成10年２月23日	ガス設備改修工事完了
平成10年12月24日	空調設備改修工事完了
平成11年６月５日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
平成12年３月30日	屋根材剥落補修工事完了 点字ブロック設置工事完了
平成12年７月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
平成13年３月29日	屋根材剥落補修工事(第７展示室)完了
平成14年３月25日	屋根材剥落補修工事(第６展示室)完了
平成14年３月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
平成14年３月25日	防犯カメラ改修工事完了
平成14年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了

平成14年度主要記事

4月 2-21日	収蔵作品による企画展「新収蔵作品展」
4月 2日	収蔵作品による企画展「浅井忠」(～6/30)
4月20日	収蔵作品による企画展「房総と近代美術」(～6/30)
4月27日	収蔵作品による企画展「花の造形」(～6/16)
5月11日	第1回むじゃキックサタデー
5月14日	陶芸講座(～6/21 日数6日)
6月15、22日	第1回ワークショップ
6月22日	収蔵作品による企画展「海」(～8/16)
7月 6日	企画展「こどものための展覧会2002」(～8/16)
7月18日	彫刻講座(～8/1 日数10日)
8月1-6日	博物館実習
8月 4日	第2回ワークショップ
8月24日	特別展「ヴィクトリア&アルバート美術館所蔵 英国ロマン主義絵画展」(～10/6)
9月7、21日	第2回むじゃキックサタデー
9月11日	学校巡回展(～12/2)
9月14日	美術講演会
9月29日	第3回ワークショップ
10月 5日	ミュージアムコンサート
10月20日	スポーツと美 こどもアートチャレンジ
10月30日	版画講座(～11/14 日数10日)
11月 9日	収蔵作品による企画展「房総と近代美術」(～3/30)
11月16日	企画展「第26回千葉県移動美術館」(～12/15)
11月17日	第4回ワークショップ
11月19日	企画展「触れる美術展」(～12/1)
11月21日	美術めぐりの旅
11月23日	収蔵作品による企画展「●▲■(まるさんかくしかく)」(～1/26)
11月23日	収蔵作品による企画展「浅井忠」(～3/30)
12月17日	収蔵作品による企画展「彫刻」(～4/13)
12月21日、1月18日	第3回むじゃキックサタデー
1月25日	第5回ワークショップ
1月28日	金工講座(～2/8 日数10日)
2月 1日	収蔵作品による企画展 「相(あい)・会(あい)・愛(あい) -対(つい)のかたち- 」(～3/23)
2月 1日、3月15日	第4回むじゃキックサタデー
2月20日	篆刻講座(～2/27 日数6日)

□ 展示事業 □

収蔵作品による企画展

「新収蔵作品展」

平成13年度に新たに収蔵した作品を紹介した。

会　　期　平成14年4月2日(火)～4月21日(日)　16日間
会　　場　第1展示室、第2展示室
展示点数　35点
入場者数　4,117人

〔日本画〕

1	時田　直善	崖の観音	1965
2	時田　直善	貝採り	1978
3	時田　直善	耀庭	1979
4	時田　直善	憩い／鷸その6	1987

〔洋　画〕

1	櫻田　精一	池畔行秋	1981
2	櫻田　精一	山河あり	1987
3	櫻田　精一	水温む河岸	1992
4	櫻田　精一	冬沼	1994
5	櫻田　精一	秋霖の頃	1996
6	塩水流　功	お風呂わかしておくよ！	1974
7	塩水流　功	みんなおいで！	1996
8	中山　爾郎	雲と水と北の国	1977
9	中山　爾郎	風渡る	1978
10	中山　爾郎	秋装の群落	1988
11	中山　爾郎	フロイエンの丘	1988
12	山倉　克己	降雪	1958
13	山倉　克己	田園弥生	1982
14	和田　清	南房江見海岸	1970
15	和田　清	赤燈台のある風景	不詳

〔彫　刻〕

1	大須賀力	画家T．E氏	2000

〔工　芸〕

1	高浜　かの子	メロディー	1985
2	高浜　かの子	おねだり	1986頃
3	中村　董一	あこがれ	1960

〔版　画〕

女子美術大学100周年記念版画集『徳の華』

1	片岡　球子	風景	2000
2	郷倉　和子	薫韻	2000
3	荘司　福	山上湖	2000
4	堀　文子	金剛インコの庭	2000
5	大久保 婦久子	献花・(Offering Flowers)	2000頃
6	多田　美波	悠・(Eternity)	2000
7	佐野　ぬい	四面の韻律	2000
8	月舘　れい	白いバラとバードデコイ	2000
9	丸木　俊	花	2000
10	三岸　節子	霧	2000

〔その他〕

1	若木　山	干支色紙	不詳
2	若木　山	団扇	不詳

「浅井　忠」

日本近代洋画の先駆者・浅井　忠の洋画、日本画、工芸作品を、ほぼ時代を追って紹介した。併せて、浅井忠に学んだ画家とバルビゾン派の画家たちの作品を紹介した。

会　　期　①平成14年4月2日(火)～5月12日(日)　34日間
②平成14年5月14日(火)～6月30日(日)　42日間
③平成14年11月23日(土)～平成15年1月13日(月)　36日間
④平成15年1月15日(水)～2月23日(日)　35日間
⑤平成15年2月25日(火)～3月30日(日)　30日間
会　　場　第3展示室
展示点数　104点
入場者数　97,821人

1	①②③④⑤	浅井	忠	槐庭時代画帳	1868
2	①	浅井	忠	少女	1877
3	②	浅井	忠	手	不詳
4	③	浅井	忠	女の顔(模写)	1876~78
5	④	浅井	忠	石膏臨画	不詳
6	⑤	浅井	忠	ミレーの木版画「昼寝」模写	不詳
7	①	浅井	忠	印旛沼	1878頃
8	②	浅井	忠	本所風景	1878頃
9	③	浅井	忠	鍛冶橋	1878頃
10	④	浅井	忠	玉川	1878頃
11	⑤	浅井	忠	風景(1)	1878頃
12	①	浅井	忠	渓流	1884
13	①	浅井	忠	多摩	1886
14	②	浅井	忠	沢入駅	1884
15	③	浅井	忠	曳舟通り	1885
16	②	浅井	忠	鎌倉建長寺(1)	1885
17	③	浅井	忠	鎌倉建長寺(2)	1885
18	④	浅井	忠	磐梯山の図	1888
19	④	浅井	忠	奈良	1888
20	⑤	浅井	忠	平城大仏鐘楼	1888
21	①	浅井	忠	房州白浜	1887
22	②	浅井	忠	白浜風景	1888
23	③	浅井	忠	房州乙浜村	1888
24	④	浅井	忠	房州波太村	1888
25	⑤	浅井	忠	房州白浜	1886~88
26	⑤	浅井	忠	本と花	1889
27	①②③④⑤	浅井	忠	藁屋根	1887頃
28	①②③④⑤	浅井	忠	小丹波村	1893
29	①	浅井	忠	平城大同江煉光亭	1894
30	②	浅井	忠	金州城壁上	1894~95
31	③	浅井	忠	貔子窩第二軍司令部	1894~95
32	④	浅井	忠	金州城南門外	1894~95
33	⑤	浅井	忠	瀝家邨天長節祝宴	1894~95
34	①②③④⑤	浅井	忠	母の肖像	1899
35	①②③④⑤	浅井	忠	フォンテンブローの夕景	1901
35	①	浅井	忠	男性裸像	1901
36	②	浅井	忠	西洋婦人	1900~02
37	③	浅井	忠	フォンテンブローの森	1901
38	④	浅井	忠	パリ公園	1900頃
39	⑤	浅井	忠	グレーの塔	1901
40	①②③④⑤	浅井	忠	農婦	1902
41	①②③④⑤	浅井	忠	老母像	1906

42①②⑤	浅井　忠	婦人像	1907
43①	浅井　忠	京都高等工芸学校の庭	1903
44③	浅井　忠	農家	1902
45⑤	浅井　忠	奈良郊外	1903
46④	浅井　忠	中沢岩太像	1903
47①②	浅井　忠	山狩武者	1905
48③	浅井　忠	東宮御所壁飾草稿（1）	1905
49④⑤	浅井　忠	東宮御所壁飾草稿（2）	1905

〔浅井　忠の日本画〕

1 ①	浅井　忠	松	1892
2 ①	浅井　忠	人物風俗図	1902～07
3 ②	浅井　忠	梅	1892
4 ②	浅井　忠	盗賊	1902～07
5 ③	浅井　忠	狂女	1898 頃
6 ③	浅井　忠	古城	1898 頃
7 ④	浅井　忠	琵琶法師	1902～07
8 ④	浅井　忠	羊の図	1907
9 ⑤	浅井　忠	田植之図	1889
10⑤	浅井　忠	もろこしと鳳仙花	1902～07

〔浅井　忠の工芸・図案〕

1 ①②	浅井　忠	菓子器	1897
2 ①②	河村　蟠山（浅井忠図案）	桔梗文花瓶	1902～07
3 ①②	河村　蟠山（浅井忠図案）	茶托	1902～07
4 ③④	浅井　忠	絵皿	1901
5 ③④	清水　六兵衛	農家風俗手塩皿	不詳
6 ③④	清水　六兵衛	向付皿	不詳
7 ⑤	浅井　忠	花瓶（白樺）	不詳
8 ⑤	浅井　忠	猿蟹合戦図茶器皿	1902～07
9 ①	浅井　忠	にわとり	不詳
10②	浅井　忠	花瓶図案	不詳
11③	浅井　忠	図案画稿（渓流）	不詳
12③	浅井　忠	図案画稿（花瓶図）	不詳
13④	浅井　忠	図案画稿（モロコシの図）	不詳
14④	浅井　忠	図案画稿（戸棚図）	不詳
15⑤	浅井　忠	図案画稿（煙草入れ）	不詳
16⑤	浅井　忠	図案画稿（花木）	不詳

〔浅井　忠の弟子とバルビゾン派〕

1 ①②	梅原　龍三郎	竹窓読書図	1937
2 ④⑤	梅原　龍三郎	伊豆大仁風景	1929
3 ①②③④⑤	安井　曾太郎	熱海附近	1929
4 ③	黒田　重太郎	女と小犬	1928
5 ③	都鳥　英喜	海浜風景	1909
6 ⑤	都鳥　英喜	洛北の早春	1934
7 ④	石井　柏亭	冬の朝（行徳）	1909
8 ①②	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865 頃
9 ①②	フォンタネージ	森の空地の農婦	1865 頃
10 ③④	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
11 ⑤	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862 頃
12 ①②	デュプレ	森のはずれ	1860～69 頃
13 ⑤	デュプレ	嵐の前	不詳
14 ①②	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
15 ①②	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55 頃
16 ③	コロー	フォンテンブローの風景	1830～35 頃
17 ⑤	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65 頃
18 ③	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
19 ④	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
20 ③	トロワイヨン	河辺の道	1860～65 頃
21 ④	ディアズ	森の中の農婦	1868
22 ④	ジャック	森の中	1871
23 ⑤	ラヴィエ	モレステルの谷	1885
24 ⑤	ラヴィエ	モレステルの谷（沼）	1867～95 頃

〔浅井　忠と教科書〕

1 ①②	浅井　忠	『彩画初歩』	1896
2 ①②	浅井　忠	『新按小学画手本』	1896
3 ①②	浅井　忠	『修正新案画手本』	1900
4 ①②	浅井　忠	『中等鉛筆小学画手本』	1905
5 ①②	浅井　忠	教科書下絵	不詳

「房総と近代美術」

近代日本美術史上に足跡を残した千葉県にゆかりある作家の作品を紹介した。

会　期	①平成 14 年 4 月 20 日（土）～ 6 月 30 日（日）	62 日間
	②平成 14 年 11 月 9 日（土）～平成 15 年 1 月 19 日（日）	60 日間
	③平成 15 年 1 月 21 日（火）～ 3 月 30 日（日）	60 日間
会　場	第 8 展示室	
展示点数	72 点	
入場者数	98, 102 人	

〔房総ゆかりの洋画家〕

1 ①②③	浅井　忠	漁婦	1897
2 ①	都鳥　英喜	海浜風景	1909
3 ②③	都鳥　英喜	八瀬の秋	1929
4 ①	石井　柏亭	冬の朝（行徳）	1909
5 ②③	石井　柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
6 ①②③	岸田　劉生	霽れたる冬之日	1917
7 ①	椿　貞雄	八重子像	1918
8 ②③	椿　貞雄	岩	1936
9 ①②③	堀江　正章	耕地整理図	1901～02 頃
10 ①	柳　敬助	婦人像	不詳
11 ①	大野　隆徳	北京・北海の春(一)	1938
12 ②③	菅谷　元三郎	母の像	不詳
13 ②③	板倉　鼎	金魚と雲	1928
14 ①②③	原　勝郎	モンマルトル	1935
15 ①③	小堀　進	南欧の丘	1962
16 ①	笹岡　了一	放蕩息子の帰宅	1960
17 ②	小堀　進	山	1965
18 ②	安藤　信哉	パリの窓	1962
19 ③	石橋　武治	筑波遠望	1953

〔描かれた房総〕

1 ①②③	ビゴー	稲毛村のわがアトリエ	1892～97 頃
2 ①②③	林　倭衛	太海	不詳
3 ①	中西　利雄	外房風景	1936
4 ①②③	大久保　作次郎	凪	1955
5 ①②③	服部　正一郎	海鹿島山	1957
6 ②	小山　周次	銚子犬吠埼	1961
7 ③	富田　通雄	静かなる日	1937

〔房総ゆかりの工芸家〕

1 ①②	香取　秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
2 ①②	香取　秀真	菊文釜	不詳
3 ①②③	津田　信夫	鳳翔薫炉	1937
4 ①	津田　信夫	鋳銅水盤	1937
5 ②③	津田　信夫	一點玲瓏	1934
6 ②③	香取　正彦	鋳銅四神文四方花瓶	1952
7 ②③	香取　正彦	朧銀玉錆花瓶	1977
8 ①②③	信田　洋	透壺	1968
9 ①	信田　洋	装瓶（棲）	1966
10②③	信田　洋	黄銅花いらず	1961
11①	宮之原　謙	象嵌十字星結晶花挿	1932
12①②③	宮之原　謙	彩地盛連葉文壺	1955 頃

13 ②③	宮之原　謙	盛上磁葡萄唐草壺	1943
14①	河村　蜻山	長方皿　雨・風・晴	不詳
15①	山本　正年	黎明	1953
16②③	藤田　喬平	飾筥朱雀	1978
17 ②④	藤田　喬平	飾筥・しだれ櫻	1985
〔房総ゆかりの日本画家〕			
1 ①	鈴木　鵞湖	農耕の図	1867
2 ②	鈴木　鵞湖	蜀の桟道図	不詳
3 ①	石井　林響	漁樵	1913 頃
4 ②	石井　林響	木華開耶姫	1906
5 ③	石井　林響	桃源	1913
6 ①	富取　風堂	漁村の初夏	1942
7 ②	富取　風堂	朝光	1931
8 ③	富取　風堂	游鯉（其一）	1928
9 ③	富取　風堂	游鯉（其二）	1928
10①	加倉井 和夫	穀機	1967
11①	関　主税	潤声	1977
12②	関　主税	晨	1984
13②	東山　魁夷	秋深	1975
14③	東山　魁夷	春雪	1973
15③	渡辺　学	夜	1968
〔房総ゆかりの書家〕			
1 ①	浅見　喜舟	太公有意垂釣	1983
2 ①	高澤　南総	龍虎	1988
3 ①	鈴木　方鶴	壺中日月長	1984
4 ②	今関　脩竹	ふるさと	1981
5 ②	小暮　青風	春野尓	1993
6 ②	中村　象閣	万葉二首	1994
7 ③	小川　瓦木	了々	1988
8 ③	大野　虚舟	阿吽	1985
9 ③	千代倉 桜舟	宗左近詩（縄文太鼓より）	1993
〔房総ゆかりの彫刻家〕			
1 ①②	小倉　惣次郎	伊藤博文像	1903～04頃
2 ①②	高村　光太郎	裸婦座像	1916 頃
3 ①②	高村　光太郎	手	1918
4 ③	高村　光太郎	猪	1905 頃
5 ①②	藤野　天光	希望	不詳

「花の造形」

収蔵品の中から、花をモチーフとした作品を紹介した。

会　　期　平成 14 年 4 月 27 日（土）～ 6 月 16 日（日）　44 日間
会　　場　第 1 展示室、第 2 展示室
展示点数　62 点
入場者数　25,551 人

［日本画］			
1	五十嵐　幹	華	1976
2	石井　林響	春秋	不詳
3	石井　林響	梅花小禽	不詳
4	稲木　皓人	更衣	1973
5	島多　訥郎	秋趣	1966
6	富取　風堂	花	1953
7	富取　風堂	花籠	1954
8	富取　風堂	初秋	1955
9	富取　風堂	椿と鴛鴦	不詳
10	富取　風堂	秋の庭	不詳
11	富取　風堂	朝顔と蜻蛉	不詳
12	村松　乙彦	化粧	1947
13	横尾　芳月	鏡獅子	1981
14	横尾　芳月	春風	1986
15	吉田　登穀	玉堂富貴	不詳
16	若木　山	島ノ椿	1963
17	渡辺 阿以湖	牡丹	1986
［洋　画］			
1	浅井　真	梅林	1960～61
2	安藤　信哉	花束	1970
3	板倉　鼎	金魚	1928
4	板倉　鼎	裸婦	1929
5	伊藤　快彦	ダリア	不詳
6	梅原 龍三郎	純子像	1968
7	大久保 作次郎	庭の木陰	1916
8	大下 藤次郎	紫陽花	1904
9	小堀　進	花と海	1974
10	小山　周次	花菖蒲	1958
11	澤部 清五郎	桜	不詳
12	椿　貞雄	牡丹	1920
13	椿　貞雄	春夏秋冬図屏風（春）	1931
14	椿　貞雄	黒壺に椿一輪	1948
15	富田　通雄	卓による女	1948
16	中林　儁	けしの花	不詳
17	鳩川　誠一	ライラックと蝶	1965
18	真野 紀太郎	バラ	1940
19	水野　以文	草花	1914
［工　芸］			
1	秋山　逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
2	石井　康治	彩花文器	1995
3	上野　斌郎	草花図染色屏風	不詳
4	神谷　紀雄	鉄絵銅彩あやめ紋大鉢	1986
5	神谷　紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺	1987
6	小林　正利	宴野	1996
7	土肥　刀泉	銅彩牡丹文扁壺	不詳
8	土肥　刀泉	辰砂菊花花瓶	不詳
9	中臺　瑞真	十六弁菱形盤	不詳
10	信田　洋	銀壺（花ひらく）	1969
11	信田　洋	透彫菖蒲文筥	不詳
12	深澤　範子	花かげ	1970
13	藤田　喬平	飾筥・しだれ櫻	1985
14	二口 志保子	動	1968
15	二口 志保子	緑の頃	1961
16	宮之原　謙	彩盛百合文壺	1974
17	宮之原　謙	白磁四方百合象嵌大皿	1935 頃
18	深山　美峰	四君子	1955 頃
19	深山　美峰	襲獲	1965 頃
20	山室　百世	鋳銅草花置物	1933
21	横山　朝陽	草花紋掻落皿	不詳
22	横山　朝陽	牡丹紋掻落壺	不詳
［版　画］			
1	生田　宏司	桜	1995
2	金子　周次	宵待草	不詳
3	深沢　幸雄	アシェンダの地下にて	1980
4	増田　陽一	植物の窓	1994

「海」

収蔵作品の中から、海をテーマとした作品を紹介した。

会　　期　平成14年6月22日(土)～8月16日(日)　48日間
会　　場　第1展示室、第2展示室
展示点数　31点
入場者数　22,386人

[日本画]

1	岩崎　巴人	波涛岩礁図	1974
2	大田　　歳	北海	1979
3	島田　良祐	海近き村	1954
4	杉原　元人	海花	1975
5	時田　直善	夕凪	1954
6	富取　風堂	漁港の朝	1950
7	吉岡　堅二	濤	1939
8	若木　　山	安房ノ海処女	1951
9	若木　　山	潜	1966

[洋　画]

1	遠藤　健郎	我は海の子	1997
2	大久保　作次郎	海水浴帰り	1917
3	大下　藤次郎	波	1905
4	鹿子木　孟郎	風景	不詳
5	小堀　　進	真夏の海（太海）	1931
6	小堀　　進	太平洋の漁村	1941
7	小山　周次	銚子犬吠埼	1961
8	斎藤　捷夫	海辺の風景	1983
9	佐々木　一郎	漁村(1982)	1982
10	三田　　康	冬の犬吠岬	不詳
11	白滝　幾之助	海辺の風景	1939
12	須田　国太郎	風景（漁船）	不詳
13	椿　　貞雄	岩	1936
14	椿　　貞雄	鋸山から見た房総半島	1948
15	積田　鰹士	貝になったブイと浜地蔵	1986
16	寺田　政明	犬吠灯台の見える外川港	1985
17	不破　　章	白い砂	1967
18	ビゴー	稲毛の夕焼け	1892～97頃
19	ワーグマン	七里ケ浜風景	不詳

[工　芸]

1	青木　滋芳	洞門	1965
2	青木　滋芳	黒潮	1977
3	上野　斌郎	渦潮染色屏風	不詳

「●（まる）▲（さんかく）■（しかく）」

収蔵作品の中から、●（まる）▲（さんかく）■（しかく）という基本的な形を表現に生かした作品を紹介した。

会　　期　平成14年11月23日(火)～平成15年1月26日(日)　47日間
会　　場　第1展示室、第2展示室
展示点数　47点
入場者数　41,145人

[日本画]

1	島田　訥郎	秋趣	1966
2	酒井　亜人	茶室	1953

[洋　画]

1	佐善　　明	エルパソの居留地	1980
2	高森　登志夫	絵画	1983
3	田中　定一	私の地球	1990
4	行木　正義	空間志向	1989
5	古井　　洵	浄土	1976
6	松本　秋美	aspettare	1983
7	三橋　兄弟治	染色をする女	1954
8	三橋　兄弟治	トレド早春	1973
9	板倉　　鼎	金魚	1928
10	片小田　栄治	地Ⅰ（DIRTY COLLECTION より）	1990
11	河合　新蔵	春の日	1912頃
12	小山　周次	三宝柑	1961
13	近藤　南海子	グレーの塔	1992

[彫　刻]

1	原　　武典	水の中の太陽（'81）	1981
2	原　　武典	水の中の太陽（'82）	1982
3	堀川　　恭	丸いフォルム	1975
4	米林　雄一	Circle and Triangle	1983
5	池田　丈一	ひねくれた正四面体	1981
6	工藤　　健	愁いのマンドーラ	1991

[工　芸]

1	津田　信夫	鋳銅水盤	1937
2	戸島　甲喜	聖域の傳説	1976
3	土肥　刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃
4	信田　　洋	黒孔雀の瓶	1967
5	二口　志保子	花	不詳
6	堀口　光彦	安眠装置	1986
7	増村　益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
8	三村　比呂志	想曲	1971
9	宮之原　謙	象嵌磁サボテン壺	1970
10	宮之原　謙	鉄茶釉鱗文花瓶	1975頃
11	横山　光ノ介	戦碑	1976
12	川上　祥三郎	黄釉文花器	1961
13	小林　正利	祈り（啓蟄）	1975

[版　画]

1	富田　文雄	接合77-25	1977
2	浜口　陽三	26のさくらんぼ	1971
3	浜口　陽三	8つのくるみ	1977
4	深沢　幸雄	憂愁市街（迷路）	1985
5	深沢　幸雄	誇り高き男	1992
6	星　　襄一	雪の玉A	1964
7	星　　襄一	星座二番	1965
8	増田　陽一	森の生活	1993
9	利渉　重雄	光の息	1991
10	池田　満寿夫	ウェルカムB	1969
11	池田　満寿夫	遥かなる通り	1970
12	池田　良二	Nobody knows my mind	1981
13	牛久　健治	ゆうえんち	1983

「彫刻」

収蔵作品の中から、素材をテーマにさまざまな素材の作品を紹介した。

会　　期　平成14年12月17日(火)～平成15年4月13日(日)　93日間
会　　場　第7展示室

収蔵作品による企画展

展示点数　17点
入場者数　30,464人

1	伊藤 礼太郎	夜叉神解脱	1982
2	梅原　正夫	なかよし	1985
3	浦野 八重子	生きるということ	1987
4	陰里　寿朗	構造上の森（街かもしれない）	1988
5	笠原　鉄明	帰る日	1993
6	金田　雄作	"Bed Room"（N氏邸見取り図より）	1984
7	澤田　志功	森は観つめる	1995
8	鈴木　　徹	馬と娘の恋物語	1984
9	鈴木　　実	存在する私	1976
10	関　　正司	IRON LADY	1982
11	長谷川　昂	花の国の母神	1961
12	六崎　敏光	香風	1984
13	安田　　侃	天泉（マケット）	1993
14	山崎　英五	地を這うものども XIII	1981
15	山本　正道	ヴァージニア	1979
16	綿引　司郎	遙	1970
17	綿引　道郎	詩人－生を見つめて	1991

「相・会・愛（あい あい あい つい）　-対のかたち-」

収蔵作品の中から、対（ペア）をテーマに師弟関係等さまざまな対の表現がある作品を紹介した。

会　　期　平成15年2月1日(火)～平成15年3月23日(日)　44日間
会　　場　第1展示室、第2展示室
展示点数　47点
入場者数　18,217人

［日本画］

1	浅井　　忠	当世風俗五十番歌合（2番）	1907
2	浅井　　忠	当世風俗五十番歌合（7番）	1907
3	浅井　　忠	当世風俗五十歌合（15番）	1907
4	浅井　　忠	当世風俗五十番歌番合（28番）	1907
5	浅井　　忠	当世風俗五十番歌合（ハンター他）	1907
6	浅井　　忠	当世風俗五十番歌合（雲水他）	1907
7	浅井　　忠	貼交屏風	1902～07
8	大岩　成徳	南天に小禽	1982
9	大森　運夫	灯翳・粛宴	1970
10	富取　風堂	仔馬	1949
11	富取　風堂	親子猿	1964
12	若木　　山	波上海女図	1953

［洋　画］

1	靉　　嘔	CLOUDS	1975
2	靉　　嘔	HEARTS	1975
3	靉　　嘔	INSECTS	1975
4	靉　　嘔	BIRDS	1975
5	靉　　嘔	ANGELES	1975
6	クールベ	雪の中の小鹿	1869頃
7	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃

［彫　刻］

1	鈴木　啓子	FEELING-LOVE 白いポエジー	1973
2	高村 光太郎	手	1918
3	高村 光太郎	十和田裸婦像のための「手」	1952
4	長谷川　昂	安息	1966
5	長谷川　昂	朝	1979
6	堀川　　恭	聖なる佇立	1981
7	松本　雄治	大母神、天を翔ける	1984

［工　芸］

1	津田　信夫	蛙	1934
2	津田　信夫	胡孫遊目	1935
3	津田　信夫	子迷家鴨	1938
4	津田　信夫	虎	不詳
5	土肥　紅繪	小袖随想	不詳
6	土肥　　満	向いあう単体	1975

［版　画］

1	池田 満寿夫	閉ざされた夜のために	1966
2	池田 満寿夫	中間	1967
3	池田 満寿夫	ハートの位置	1968
4	池田　良二	Nobody Knows my mind	1981
5	富田　文雄	森　７５－２０	1975
6	富田　文雄	接合７７－２５	1977
7	浜口　陽三	ういきょう	1958
8	浜口　陽三	くるみ	1971
9	浜口　陽三	二匹の蝶	1977
10	浜口　陽三	編み棒	1985
11	浜口　陽三	黄色い編み棒	1985～89
12	深沢　幸雄	遺伝（青い影）	1972
13	深沢　幸雄	凝視（青）	1973
14	深沢　幸雄	新しき土	1981
15	深沢　幸雄	鏡の前の人（2）	1983
16	深沢　幸雄	陸橋の上を歩く人	1984
17	深沢　幸雄	寂しい訪問者	1988
18	深沢　幸雄	顔は迷路	1988

［研究資料］

1	浅井　　忠	筑波日記	1879
2	黒沼　槐山	花鳥図	不詳
3	黒沼　槐山	絵手本	不詳
4	浅井　　忠	槐庭画帳	1864頃

［参考資料］

浅井　忠他	当世風俗五十番歌合（上・下）（書籍）	1907
長谷川　昂	鉈	
鈴木　啓子	FEELING-LOVE エスキース	

特別展

ヴィクトリア＆アルバート美術館所蔵

英国ロマン主義絵画展

英国の代表的な国立美術館ヴィクトリア＆アルバート美術館の膨大なコレクションの中から、61作家による油彩、水彩、素描など約120点を精選し、18世紀から20世紀にかけての英国ロマン主義絵画の魅力を紹介した。

会　　期　平成14年8月24日(土)～10月6日(日)　38日間
会　　場　第1、2、3、8展示室

展示点数　116点
入場者数　13,102人
主　　催　千葉県立美術館
後　　援　ブリティッシュ・カウンシル
協　　力　日本航空
協　　賛　株式会社千葉興業銀行／京成電鉄株式会社／小湊鉄道株式会社／東葉高速鉄道株式会社／北総開発鉄道株式会社

I　ロマン主義の起源

1	ジェイムズ・バリー	画家の肖像	
2	ベンジャミン・ウェスト	スノー・ヒルの眺め、ウィンザー大庭園	
3	〃（原画）	サウルとエンドールの魔女	
4	ジョージ・モーランド	海辺ー網を曳く漁師たち	
5	フィリップ・ジャック・ド・ラウザーバーグ	ライン川の滝、シャッフハウゼン	
6	ヘンリー・フューズリ	火の王	
7	ポール・サンドビー	ウィンザー城：北のテラス	
8	ジョン・ロバート・カズンズ	洞穴の中からの眺め	1778
9	〃	ナポリとポルティチ近くの農家	
10	ロバート・フリーバーン	ライン川の大滝	

II　幻視者：ウィリアム・ブレイク

11	ウィリアム・ブレイク	弟イジムに担がれて宮殿に戻り、子供たちに呪いの言葉を浴びせるティリエル	
12	〃	キリストの変容	
13	〃	モーゼの発見：ファラオの娘の慈悲	
14	〃	人間の堕落	1807
15	〃	反逆天使たちを呼び覚ますサタン	1808
16	〃	エジプトの聖母子	1810

III　トーマス・ガーティン

17	〃	ラウス教会、リンカーンシャー	
18	〃	カークストール修道院、ヨークシャー―夕暮れ	
19	〃	ウーズ川岸のメイヤーズ・ウォーク、ヨークシャー	1801
20	〃	隠者のいる風景	1801

IV　光、大気、蒸気：ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー

21	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	イースト・カウズ城：停泊地へ向かうレガッタ	
22	〃	セント・マイケルズ・マウント、コーンウォール	
23	〃	ヘイスティングス沖の釣舟	
24	〃	ティンターン修道院の内部、モンマスシャー	
25	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ホーリー島、ノーサンバーランド	
26	〃	テイサム教会から見たホーンビー城	
27	〃	湖と丘陵（ブリエンツ？）	
28	〃	スイスの峠道	

V　地方詩人：ジョン・コンスタブル

29	ジョン・コンスタブル	イースト・バーゴルト教会と墓地	
30	〃	デダムの水門と水車小屋	
31	〃	空と木々の習作	
32	〃	コールオートン邸の森にあるリチャード・ウィルソンの記念碑	
33	〃	ホーヴの海辺	
34	〃	丘の風車小屋、ブライトン近郊	
35	〃	トネリコの木	
36	〃	木立の中の小屋、砂堆	
37	〃	水門	

VI　ジョン・セル・コットマン

38	ジョン・セル・コットマン	悪魔の橋、カーディガン	1801
39	〃	木々の習作	
40	〃	ハワード城にて	1806
41	〃	カペル・キューリグへの道、北ウェールズ	1807
42	〃	クロズビー・ホールの内部	1831

VII　陸と海

43	パトリック・ナズミス	サー・フィリップ・シドニーの樫の木	
44	ジョン・ジェイムズ・シャロン	ヘイスティングスーそよ風のなか岸に向かう舟	1819
45	ピーター・デ・ウィント	ブラック・ギャング小峡谷、ワイト島	
46	ジョン・マーティン	リッチモンド・パーク	1843

47	ジョン・マーティン	リッチモンド・パーク	1850
48	ジョン・リネル	収穫の月	1855
49	デイヴィッド・ロバーツ	ロスリン礼拝堂、地下室への入り口	1843
50	エドウィン・ランシア	鷲の巣	
51	ダニエル・マクリース	ティンタジェル付近、セント・ナイトンズ・キーヴの滝	1842
52	ウィリアム・マルレディ	モール街付近、ケンジントン採石場	1812
53	〃	モール街、ケンジントン採石場	1811～12
54	リチャード・レドグレイヴ	古きイングランドの農場	1854
55	ジョージ・トラヴァース	ホイットサンド湾、デヴォンー通り雨	
56	ジョージ・フェネル・ロブソン	コルイスク湖とクークリンの山々、スカイ島	
57	デイヴィッド・コックス	スコットランドの樅の木	
58	〃	カレーのルージュ砦、小海老を採る人々	1833
59	〃	挑戦：嵐の荒野に立つ雄牛	1856
60	エドワード・ウィリアム・クック	シリンダー船クレオパトラ号	1878

Ⅷ “古代人”サミュエル・パーマー

61	サミュエル・パーマー	落ち穂拾いから戻るルツ	1829
62	〃	ヴィラ・デステ	1837
63	〃	墓地の道、発掘前のポンペイ	1838
64	〃	船出	1858
65	〃	晩鐘時の帰宅	1864

Ⅸ 遠い昔、遠い場所

66	ジョン・リネル	ヨルダン川のほとりでの休息	1840～49
67	ジョン・マーティン	キリストの磔刑	
68	フランシス・オリバー・フィンチ	金の羊毛を探すイアソン	
69	ジョン・マーティン	岩のある山岳風景	
70	ピーター・デ・ウィント	隠者と稲妻の風景	1812～16
71	フランシス・ダンビー	リーンスフィヨルド湖、ノルウェー	
72	デイヴィッド・ロバーツ	ダーロ川沿いの古い建物、グラナダ	1834
73	ジョン・フレデリック・ルイス	砂漠での休息	1855
74	エドワード・リア	レバノン杉	1858
75	クラークソン・フレデリック・スタンフィールド	サルディス	1834
76	ヘンリー・ウォレン	岩のドーム、エルサレム	1861～62
77	ウィリアム・パーサー	アジアの甘い水辺の草地	1820～30
78	トーマス・アロム	夏の別荘とヨーロッパ城、ボスポラス海峡	1846

Ⅹ 感情と想像力

79	フランシス・ダンビー	かなわぬ恋	
80	ウィリアム・マルレディ	ソネット	
81	〃	初恋	
82	フランシス・ダンビー	魔法にかけられた城	
83	トーマス・ダンカン	悲しき心	1841
84	ジョージ・バレット	墓地での物思いー月光	1842
85	リチャード・レドグレイヴ	ガラスの靴を履こうとするシンデレラ	
86	〃	花冠を編むオフィーリア	1842
87	ダニエル・マクリース	ヴェルナーを演じるマクリーディ	
88	ジョージ・クルックシャンク	タム・オシャンター	1854

Ⅺ ラファエル前派にみるロマン主義

89	チャールズ・オールストン・コリンズ	1854の豊作	
90	ジョン・エヴァレット・ミレイ	聖アグネスの宵祭	
91	〃	掘割館のマリアーナ	
92	フレデリック・サンズ	誇り高きメイジー	
93	フォード・マドックス・ブラウン	寡婦の息子をその手に戻すエリヤ	1868
94	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	ボルジア家の人々	1863
95	〃	シリアのアスタルテ女神	1875
96	アーサー・ヒューズ	白い雌鹿	
97	エドワード・バーン＝ジョーンズ	水車小屋ー音楽に合わせ川辺で踊る乙女たち	1870～82
98	〃	夫の無事な帰還を心待ちにするブルターニュのドリゲン	1871
99	〃	マーリンとニミュエ	1861
100	ウィリアム・ホルマン・ハント	ポンテ・ヴェッキオ、フィレンツェ	1867
101	ヘンリー・ボウラー	ルクーンブ小峡谷	1860

Ⅻ 世紀末のロマン主義：オーブリー・ビアズリー

102	オーブリー・ビアズリー	グイネヴィア王妃、五月祭に馬を駆る	

特別展

103	オーブリー・ビアズリー	アーサー王、探し求めていた獣に出会う	
104	〃	大修道院長	
XIII	新ロマン主義へ		
105	デイヴィッド・ジョーンズ	エルム街1番地	1927
106	ジョン・パイパー	年貢倉、グレート・コックスウェル、バークシャー	
107	エリック・ラヴィリオス	ウィルミントンの巨人	1939
108	ケネス・ロウントリー	リヴァーモア墓地、バーンストン、エセックス	
109	ポール・ナッシュ	ひまわりの日食	1945
110	グレアム・サザーランド	放浪者?	1940
111	マイケル・エアトン	戦いの砦	1940
112	ジョン・アームストロング	海芋の風景	1948
113	デルマー・バナー	カーク・フェルから見たグレート・ゲーブル	
114	エドワード・ボーデン	キリストよ！私は教会に何度も行きました	1937
115	ブルネラ・クラフ	夜の風景	
116	ピーター・ラニヨン	海のドア	1959

企画展

こどものための展覧会2002「日本といえばなに？不二山三昧！」

日本人に最も親しまれている不二山をテーマに、こども達に「みる」「つくる」活動を促した。

会　　期　平成14年7月6日（土）～8月16日（金）　38日間
会　　場　第3、8展示室
展示点数　43点
入場者数　17,696人
関連行事　（1）ワークショップ　会期中の毎週土・日曜日午後1時～3時
「ハッピーふじ」「キャンドルふじ」「美ーズふじ」
（2）「ジョン・海山・ネプチューン／こどものためのコンサート」7月20日（土）

［日本画］

1	後藤　純男	2000年旭光富士	2000

［洋　画］

1	安達　時彦	Ｆｕｊｉ	2002
2	安達　時彦	紫映富士	2002
3	絹谷　幸二	燦々富士	2000
4	絹谷　幸二	白雲富士	2000
5	絹谷　幸二	駿河富士	2000
6	櫻井　孝美	賛歌	1996
7	櫻井　孝美	生まれ出づる日輪Ⅱ	1997
8	櫻井　孝美	龍神をみる	1999
9	櫻井　孝美	天と地と	2000
10	櫻井　孝美	波濤富士	2000

［工　芸］

1~20	池田満寿夫	富士（陶板20点）	1994

［版　画］

1	片岡　球子	積乱雲の富士	1975
2	片岡　球子	銀色になった富士	1991
3	片岡　球子	雪ふりつもる白き富士	1991
4	片岡　球子	めでたき富士　大観山の富士	1992
5	片岡　球子	めでたき富士　西湖の富士	1992
6	片岡　球子	五合目からの赤富士	1993
7	片岡　球子	雪（めでたき富士より）	1999
8	片岡　球子	花（めでたき富士より）	1999
9	片岡　球子	ゆたかなる富士	2001
10	片岡　球子	富士	2002
11	葛飾　北斎	山下白雨	1831頃
12	葛飾　北斎	隠田の水車	1831頃

第26回千葉県移動美術館

当館の収蔵作品を中心に、第54回千葉県美術展覧会（県展）の受賞作品を加えた移動美術館を開催し、美術作品を身近に鑑賞できる機会を提供した。

会　　期　①平成14年11月16日(土)～12月1日(日)　13日間
②平成14年12月4日(水)～12月15日(日)　11日間
会　　場　①市川市文化会館
②サンプラザ市原
展示点数　①54点
②49点
入場者数　①2,105人
②856人

［日本画］

1	関　主税	潤声	1977
2	富取　風堂	秋の草	1943
3	若木　山	海女	1952

［洋　画］

1	靉　嘔	CLOUDS	1975
2	靉　嘔	HEARTS	1975
3	靉　嘔	INSECTS	1975
4	靉　嘔	BIRDS	1975
5	靉　嘔	ANGELES	1975
① 6	浅井　忠	鎌倉	1885
① 7	浅井　忠	磐梯山の図	1888

企画展

①	8	浅井　忠	朝鮮大同門図	1894
①	9	浅井　忠	帆船の図	1907
①	10	浅井　忠	婦人像	1907
	11	石井　柏亭	信州風景	1948
	12	石井　柏亭	冬の朝（行徳）	1909
	13	伊牟田 經正	悲劇	1977
	14	小堀　進	レマン湖畔	1962
	15	小堀　進	ロンドンの朝	1964
	16	星加　達夫	影	1996
	17	クールベ	嵐	1865頃
	18	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
	19	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
		［彫　刻］		
	1	長谷川　昂	朝	1979
	2	松本　雄治	大母神、天を翔ける	1984
		［工　芸］		
	1	秋山　逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
	2	秋山　逸生	蝶貝象嵌箱	1966
	3	石井　康治	環象文器	1993
	4	石井　康治	彩花文器	1995
	5	土肥　満	向いあう単体	1975
	6	土肥　満	蹲踞	1993
	7	戸島　甲喜	天と地の間に	1977
	8	戸島　甲喜	胎宙の図	1992
		［書］		
	1	浅見　喜舟	卜居	1980
	2	千代倉 桜舟	左近の詩	1994
		［版　画］		
	1	池田 満寿夫	版画集（トラベラーズ・ジョイ）	1973
	2	浜口　陽三	版画集（ポルトフォリオ）	1974
	3	浜口　陽三	てんとう虫（7枚組）	1984
	4	深沢　幸雄	失われた像	1967
	5	深沢　幸雄	鏡の前の人（2）	1983
	6	深沢　幸雄	星屑劇場	1983
	7	星　襄一	王の樹	1976
	8	星　襄一	枯草の風景（B）	1978
		〈第54回千葉県美術展覧会作品〉		
	1	小坂　宏子	水溜まり（日本画）	2002
	2	石原　重人	ぼくの部屋の中（洋画）	2002
	3	戸井田 美満子	想春（工芸）	2002
	4	原田　彩翠	楊慎詩（書）	2002

※①は市川文化会館のみで展示

「触れる美術展」

美術作品にじかに触れることのできる展覧会として、本館の収蔵作品、県内で活躍する彫刻家の作品、千葉県立盲学校の生徒の作品を紹介した。

会　　期　平成14年11月19日(火)～12月1日(日)　12日間
会　　場　第6展示室
展示点数　44点
入場者数　5,483人

	1	青木三四郎	わらべ	2002
	2	石川　浩	風が見える	1995
	3	石橋　亘	華	2002
	4	上野　弘道	Mutter mit Kind(母に抱かれる子)	2001
	5	神谷　睦代	K・M	2001
	6	酒井　良	帽子・男	1995頃
	7	酒本　雅行	風穴	2002
	8	渋谷　三朗	ニャンコ	2002
	9	鐵岩　隆	生命容器－サナギ－	1997
	10	虎竹　秀芳	熊野の男	1991
	11	永津　守	木と風のダンス	2002
	12	福永　巨	風信	2002
	13	船田　正廣	秘蔵	1983
	14	矢野　真	記憶の中	2002
○	15	鈴木　啓子	FEELING-69	1969
○	16	高田　博厚	マハトマ・ガンジー	1960
○	17	毛利　教武	手	1919
○	18	安田　侃	天泉（マケット）	1993
○	19	山崎　英五	地を這うものどもⅧ	1978
		〈生徒作品〉		
	1	千頭井一樹	空飛ぶ煙に乗って	小学部5年
	2	角鞘　和将	おしろ	小学部5年
	3	小橋　裕也	くいしんぼうのオバケ	小学部5年
	4	大谷雄太郎	カセットデッキと踊るぼく	小学部5年
	5	大田実成子	みんなで宇宙遊泳	小学部6年
	6	安部　里美	たまごのお店屋さん	小学部6年
	7	鶴岡　洋佑	不思議なたまご	小学部6年
	8	伊藤　陵平	ゲームの世界	小学部6年
	9	中西　良輔	お父さんとジェットコースターに乗ったよ	小学部6年
	10	渡辺　泰明	花咲き山(共同制作)	小学部4年
		前田りひろ		小学部6年
		小川　光		小学部6年
	11	荒谷　健太	宇宙人の家	中学部1年
	12	土井　則博	家族の住む田舎の家	中学部1年
	13	笹生　千晶	可愛がっていたリス	中学部3年
	14	渡辺　暁	ふたり	中学部3年
	15	阿部　徹	思いのままに(共同制作)	中学部2年
		菊池雄一郎		中学部3年
		石上美登里		中学部3年
	16	宇佐美愛美	天使のたまご	中学部3年
	17	安倍　和也	壺の涙	高等部1年
	18	丸田　望	友達がいっぱい	高等部1年
	19	小坂　明子	宇宙人	高等部1年
	20	牧野彩寿香	夢	高等部2年
	21	荒原　真紀	戦場	高等部2年
	22	田中　慎也	古城	高等部2年
	23	江波戸秀和	友人と悪ふざけ	高等部2年
	24	鈴木　一行	ある日　主従関係が逆転	高等部3年
	25	安藤佐那佳	この服似合うかな	高等部3年

○は、本館収蔵の作品

□ 普及事業 □

■美術講演会

特別展の関連事業の一つとして美術講演会を実施した。講演会では特別展展覧作品のスライドを中心に英国18世紀から20世紀に渡る約200年の歴史を紹介していただいた。また、それぞれの作品にまつわるエピソードまで加え、英国ロマン主義絵画に対する理解が一層深まり有意義な講演会であった。

●9月14日(土)

「思い出の風景、夢に見た風景ー英国ロマン主義絵画の一側面」

高橋　裕子氏　(学習院大学教授)

参加者数　102名

■ミュージアムコンサート

特別展「ヴィクトリア&アルバート美術館所蔵　英国ロマン主義絵画展」の開催中に、「弦楽五重奏による英国ロマン音楽紀行」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

グリーンスリーブスやアメージング・グレイスなどのイギリス民謡から、ヘイ・ジュードなどのビートルズの曲まで親しみのある曲を演奏し、好評を得た。

●10月5日（土）14時～、美術館講堂

参加者数　217名

■一日学芸員体験

平成14年度より施行されている新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施した。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、そして実技Ⅰとして野外彫刻の点検及び鑑賞をし、それをまとめて発表会を行った。午後からは、実技Ⅱとして、美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方を和室で行った。

●参加学校数　小学校1校、中学校10校

参加児童・生徒数　68名

■情報資料室

毎週火～金曜日12時30分～4時30分、土・日曜日、祝日は9時～4時30分に開室し、県民の方々の美術情報資料（図書、雑誌、図録、新聞等）の利用に供した。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、14年度の収蔵図書については138冊を購入し、43冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

分類別図書数

区　分	平成13年度まで	平成14年度	計
美術総記	1,806	30	1,836
絵画	1,630	33	1,663
彫刻	272	1	273
工芸	398	4	402
書	179	2	181
版画	153	2	155
デザイン・建築	91	0	91
写真・映像	199	1	200
その他	50	18	68
雑誌（合冊・復刻）	358	83	441
一般図書	548	7	555
合　計	5,684	181	5,865

区　分	平成13年度まで	平成14年度	計
購入図書	3,011	138	3,149
寄贈図書	2,673	43	2,716
合　計	5,684	181	5,865

（展覧会図録を除く）

■実技講座

(1)陶芸講座

期　　日　平成14年5月14日、15日、17日、6月4日、5日、21日
(6日間、講師指導日数は6日間)

講　　師　古瀬　利治氏(受講者数31名)

内　　容　焼成・絵付け・薬掛けなどの行程から用具の取扱や陶芸に関する基本的な技法を学習した。

(2)彫刻講座

期　　日　平成14年7月18日、19日、21日、23日、24日、25日、28日、30日、31日、8月1日
(10日間、講師指導日数は7日間)

講　　師　福永　巨氏(受講者数 7名)

内　　容　塑像の学習を通して、立体作品の制作行程を理解し、幅広い表現方法を学習した。

(3)版画講座

期　　日　平成14年10月30日、31日、11月1日、 7日、8日、9日、10日、12日、13日、14日
(10日間、講師指導日数は7日間)

講　　師　上田　靖之氏(受講者数 16名)

内　　容　単色・多色版画などの木版画の学習を通して、凸版画の基礎的な技法と版画の幅広い表現方法を学習した。

(4)金工講座

期　　日　平成15年1月28日、29日、30日、31日、2月1日、4日、5日、6日、7日、8日
(10日間、講師指導日数は7日間)

講　　師　小林　正利氏(受講者数20名)

内　　容　銅板レリーフと彫金の制作を通して各種工具の製作から取扱いと基礎的な技法を学習した。

(5)篆刻講座

期　　日　平成15年2月20日、21日、22日、25日、26日、27日
(6日間、講師指導日数は4日間)

講　　師　細谷　恵志氏(受講者数24名)

内　　容　手軽にできる石材彫刻を通して篆刻の魅力を堪能し、篆刻の基本的な技法を学習した。

■学校巡回展

世界の優れた美術品を鑑賞できる機会を提供するとともに、小・中学生の情操のかん養に資することを目的とし、「美術館がやってきた」をテーマに、名画の複製画を巡回展示した。

今回は、山武・長生地区の小学校4校、中学校2校を開催校とし、希望のあった学校へは美術館職員が出向き、「ギャラリートーク」を実施した。

【　学校巡回展開催校　】

●茂原市立茂原小学校
平成14年10月15日～10月29日(参加者約410名)
『バルビゾン派から後期印象派まで』

●長生村立八積小学校
平成14年10月31日～11月14日(参加者約425名)
『バルビゾン派から後期印象派まで』

●長生村立長生中学校
平成14年11月18日～12月2日(参加者約470名)
『バルビゾン派から後期印象派まで』

●横芝町立横芝中学校
平成14年9月11日～9月25日(参加者約470名)
『ルネッサンスからロマン主義まで』

●九十九里町立片貝小学校
平成14年10月15日～10月29日(参加者約300名)
『象徴主義から現代まで』

●松尾町立松尾小学校
平成14年10月31日～11月14日(参加者約320名)
『象徴主義から現代まで』

【　ギャラリートーク実施校　】

◆茂原市立茂原小学校
平成14年10月25日(参加者約85名)

◆長生村立八積小学校
平成14年11月11日(参加者約205名)

◆九十九里町立片貝小学校
平成14年10月18日(参加者約152名)

◆松尾町立松尾小学校
平成14年11月5日(参加者約209名)

◆横芝町立横芝中学校
平成14年9月17日(参加者約150名)

■美術めぐりの旅

県内各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

11月21日（木）

―後藤純男美術館と山下りんのイコン画を鑑賞する旅―

後藤純男美術館、須賀正教会

参加者数　32人

■活動協力

□千葉県立美術館友の会

1.目　的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気のなかで、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2.組　織

（1）会員数　個人会員435人　賛助会員2人

（2）役　員　会長1人　副会長2人　監事2人

理事若干名

3.事　業

（1）友の会だより「しおさい」の発行、年4回

各1,000部印刷し、会員に配布した。

（2）第27回葉美会展の開催

会期／平成14年9月3日（火）～8日（日）

出品者47人　展示点数83点

（3）秋の美術鑑賞の旅

美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深めるために実施した。

10月31日（木）

永青文庫、横山大観記念館、黒田清輝記念館

参加者数　45人

（4）館事業への協力

ミュージアムグッズの販売・実技講座の開催のほか、講演会など県民アトリエ事業に積極的に参加した。

（5）その他

テレホンカード・絵葉書・額縁・額絵・図書等の販売

4.平成14年度　友の会実技講座

洋画入門講座（1）

期日　5/21（火）23（木）25（土）

28（火）30（木）6/1（土）　(6日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　33人

洋画入門講座（2）

期日　6/13（木）14（金）20（木）

21（金）27（木）28（金）　(6日間)

講師　羽生　智樹氏　受講者数　31人

洋画入門講座（3）

期日　7/6（木）7（日）13（土）　(3日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　27人

洋画入門講座（4）

期日　7/23（火）25（木）27（土）　(3日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　26人

洋画入門講座（5）

期日　8/6（火）8（木）10（土）

20（火）22（木）23（金）　(6日間)

講師　池田　敏男氏　受講者数　22人

洋画入門講座（6）

期日　8/28（水）29（木）30（金）　(3日間)

講師　松澤　茂雄氏　受講者数　36人

洋画入門講座（7）

期日　9/4（水）5（木）6（金）　(3日間)

講師　松澤　茂雄氏　受講者数　36人

洋画入門講座（8）

期日　10/16（水）17（木）18（金）　(3日間)

講師　松澤　茂雄氏　受講者数　33人

洋画入門講座（9）

期日　11/26（火）28（木）30（土）

12/3（火）5（木）6（金）　(6日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　33人

日本画入門講座（10）

期日　9/11（水）12（木）13（金）

18（水）19（木）20（金）　(6日間)

講師　斎藤　惇氏　受講者数　17人

デッサン入門講座（1）

期日　7/19（火）28（日）30（火）

8/1（木）2（金）3（土）　(6日間)

講師　御園　正男氏　受講者数　11人

デッサン入門講座（2）

期日　2/18（火）20（木）22（土）

8/1（木）2（金）3（土）　(　6日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　37人

デッサン入門講座（3）

期日　3/1（土）2（日）8（土）　(3日間)

講師　根岸　茂行氏　受講者数　32人

□博物館実習

各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を次のとおり受け入れた。

平成14年8月1日（木）～8月6日（火）

日本大学1人、専修大学1人、東京工芸大学1人、跡見学園女子大学1人、千葉経済大学1人、千葉大学1人、学習院大学1人、女子美術大学1人

(8大学、8人)

■スポーツと美～こどもアートチャレンジ～

次代を担うこども達に、スポーツや美術を愛する心を育む機会とするため、千葉県スポーツ振興財団等との連携事業として、県総合運動場内の施設や周辺の写生大会と千葉県スポーツ科学総合センターにおける写生会展を開催した。

写生会　平成14年10月20日(日)
　　参加者14人　参加校9校
写生会展　平成14年11月17日(日)～12月1日(日)
会場　千葉県スポーツ科学総合センター

■さわやかちば県民プラザとの連携事業

さわやか県民プラザとの連携事業で、テーマを「おもしろ美術館」と題し、美術館を様々な角度から体験して楽しむ事業として実施した。

●「おもしろ美術館・発光スチロールオブジェ作り」
平成14年8月24日（土）　【参加者　親子30人】
●「おもしろ美術館・ビーズで作ろう●▲■」
平成14年12月14日（土）　【参加者　親子37人】

■生涯学習フェスティバル

さわやかちば県民プラザにおいて、「アトリ絵カード」を作成し、ツリーに飾る創作体験を実施した。
平成14年11月23日（土）24日（日）

■ワークショップ

美術館でしか味わえないエキサイティングで躍動的な創作体験学習を通して、こども達に親しまれる美術館の促進を図るため、ワークショップを開催した。

●第1回ワークショップ
「アトリ絵カードに願いを……」
期　日　平成14年6月15日（土）22日（土）
場　所　第7展示室　【参加者数250人】
●第2回ワークショップ
「新聞紙・デ・オートクチュール」
期　日　平成14年8月4日（日）
場　所　第7展示室　【参加者数54人】
●第3回ワークショップ
「ウォールペイント＋ロールペイント」
期　日　平成14年9月28日（土）
場　所　美術館野外　【参加者数146人】
●第4回ワークショップ
「千葉ポートパークがモニュメントアート広場に変身！」
期　日　平成14年11月17日（日）
場　所　千葉ポートパーク広場【参加者数47人】
●第5回ワークショップ
「アーティスト共演！スチロール・オブジェ」
期　日　平成15年1月25日（土）
場　所　第6展示室　【参加者数23人】

■むじゃキック・サタデー

本年度より、展示に即した楽しい鑑賞学習と創作体験を同時に味わえる様々なプログラムを土曜日に展開する新規事業として実施した。

●第1回むじゃキック・サタデー
「花・花えらび....形あそび....」
期　日　平成14年5月11日（土）
場　所　第7展示室【参加者数36人】
＊収蔵作品による企画展「花の造形」関連事業
●第2回むじゃキック・サタデー
「むじゃきにトーク！いろいろ話そう」
期　日　平成14年9月7日（土）21日（土）
場　所　第7展示室【参加者数20人】
＊特別展「英国ロマン主義絵画展」関連事業
●第3回むじゃキックサタデー
「かたちさがそう！かたちつくろう！」
期　日　平成14年12月21日（土）
　　平成15年1月18日（土）
場　所　第6展示室【参加者数44人】
＊収蔵作品による企画展「●▲■」関連事業
●第4回むじゃキックサタデー
「あいしちゃった？ラ・ラ・ラン・ラン！」
期　日　平成15年2月1日（土）
　　平成15年3月15日（土）
場　所　第6展示室【参加者数62人】
＊収蔵作品による企画展「相・会・愛」関連事業

■平成14年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会期・展示会場	申請者
浅井忠	下絵「食事」 下絵「囲碁をさす図・他」	夏目漱石遺品受贈記念 夏目漱石展－21 世紀へのことば－	14. 4/27～6/9 県立神奈川近代文学館	県立神奈川近代文学館 財団法人神奈川文学振興会
後藤純男	山門雨後	後藤純男展	14. 9/4～10/14 北海道立近代美術館	北海道立近代美術館
ルノワール	少女像	モネからセザンヌへ－印象派・後期印象派展－	14. 9/7～10/6 埼玉県立近代美術館 14. 10/12～11/24 秋田県立近代美術館	埼玉県立近代美術館 秋田県立近代美術館 美術館連絡協議会
鶴田吾郎	初秋	中村彝とその仲間たち展	14. 9/14～10/13 掛川市二の丸美術館	掛川市二の丸美術館
椿貞雄	八重子像	東北の作家と風土展	14. 9/20～11/4 井原市立田中美術館	井原市立田中美術館
浅井忠 フォンタネージ	藁屋根 池と樹木	小山正太郎と「書ハ美術ナラス」の時代	14. 10/4～11/17 新潟県立近代美術館	新潟県立近代美術館
鈴木実	存在する私	－わたし自身の肖像－鈴木実木彫展	14. 10/18～11/17 山形美術館	山形美術館
クールベ	眠る人 雪の中の小鹿	クールベ展－狩人としての画家	14. 11/1～12/24 村内美術館	株式会社毎日放送
香取秀真	霊獣文大花瓶 鳳凰文様花瓶 笑獅子香炉 六角火鉢 菊文釜 鳩香炉 鋳鉄茶釜 千本松文釜 鶴文鉄釜 烏銅鳳凰香炉 美々豆久香爐 瑞鳥飾三足鑪	香取秀真展	15. 1/21～2/20 佐倉市立美術館	佐倉市立美術館
コロー トロワイヨン フォンタネージ	フォンテンブローの風景 河辺の道 木立	明るい窓：風景表現の近代展	15. 2/1～3/30 横浜美術館	横浜美術館
高畑郁子	メスティーソの女達	高畑郁子展	15. 2/8～3/16 豊橋市美術博物館	豊橋市美術博物館
今関脩竹	ふるさと 石山 白雪 若草山 左千夫の歌	今関脩竹遺墨展	15. 3/4～3/9 東京セントラル美術館	書道研究藍筍会

□　調査・収集事業　□

■収蔵資料数一覧（平成15年3月31日現在）

種別＼受入方法	購入	寄附	保管換	合計
日本画	128	161	25	314
洋画	352	461	42	855
彫刻	83	25	11	119
工芸	149	157	10	316
書	110	133	14	257
版画	175	76	5	256
合計	997	1，013	107	2，117

研究資料	244	1，246	53	1，543

■収蔵資料一覧

［凡例］　・No、作家名、作品名、制作年、材質・技法、寸法の順に記載した。
・作品寸法の単位はcmで、平面作品の場合は縦×横、立体作品の場合は高×幅×奥行で示した。
・丸数字の作品は購入、それ以外は寄附を表す。

〈日本画〉

1	川端　龍子	松		絹・着彩	46.5×57.3
2	土屋　礼一	道		紙・着彩	97.0×144.0
3	松尾　敏男	晨光富貴		紙・着彩	45.5×60.4

〈洋　画〉

1	牛島　憲之	潮		キャンバス・油彩	24.3×41.0
2	熊谷　文利	祈祷師群（会議ロ）	1985	キャンバス・油彩	112.0×162.0
3	熊谷　文利	佳人祈祷師（入境）	1988	キャンバス・油彩	145.5×112.0
4	熊谷　文利	佳人祈祷師（一人旅）	1988	キャンバス・油彩	130.4×162.0
5	熊谷　文利	佳人祈祷師（カード占い）	1988	紙・水彩	116.8×91.0
6	熊谷　文利	証誠寺交響楽団	1989	キャンバス・油彩	130.4×162.0
7	熊谷　文利	占師の旅（相偶）	1996	紙・水彩	116.8×80.5
⑧	五姓田 義松	三味線をひく女	1907	紙・水彩	30.3×21.8
9	鈴木 信太郎	牡丹		キャンバス・油彩	53.0×46.4
10	田坂 ゆたか	佃島にて	1955	紙・水彩	51.6×67.8
11	田坂 ゆたか	森ヶ崎附近	1963	紙・水彩	67.5×99.8
12	田坂 ゆたか	木場	1965	紙・水彩	66.7×99.9
13	田坂 ゆたか	ロシアの人形	1966	紙・水彩	65.3×49.8
14	田坂 ゆたか	ヴァンスの春	1976	紙・水彩	67.4×100.1
15	田坂 ゆたか	運河沿いの家	1986	紙・水彩	56.0×75.5
16	萩原　譲治	地平線に贈る言葉（愛）	1997	キャンバス・油彩	72.8×91.0

〈工　芸〉

1	岩田　藤七	貝	1962	ガラス	12.0×30.5×18.5
2	岩田　藤七	盛器	1969	ガラス	20.0×35.0
3	岩田　藤七	花器	1971	ガラス	64.0×16.5
4	岩田　藤七	水指	1971	ガラス	19.0×16.0
5	岩田　藤七	水指	1973	ガラス	19.5×20.0
6	岩田　藤七	花器	1974	ガラス	23.5×12.0×12.0
7	岩田　藤七	貝	1974	ガラス	9.0×26.0×20.0
8	岩田　藤七	花器	1975	ガラス	25.0×9.0×9.0

9	岩田　藤七	花器	1975	ガラス	19.5×6.0×7.5
10	岩田　藤七	貝	1975	ガラス	9.5×34.5×16.5
11	岩田　藤七	瓶	1975	ガラス	26.5×11.0
12	岩田　藤七	水指（ささやき）	1976	ガラス	14.5×18.0
13	岩田　藤七	水指	1976	ガラス	18.0×14.0
14	岩田　藤七	瓶	1977	ガラス	20.5×15.5×8.5
15	岩田　久利	花器	1976	ガラス	42.0×18.0
16	岩田　久利	花器	1982	ガラス	19.5×23.5
17	岩田　久利	鉢	1984	ガラス	20.0×43.0
18	岩田　久利	花器	1986	ガラス	56.5×18.5
19	岩田　久利	水指	1986	ガラス	20.5×16.5
20	岩田　久利	鉢	1986	ガラス	23.0×21.0
21	岩田　久利	花器（影）	1986	ガラス	40.0×26.0
22	岩田　久利	花器	1989	ガラス	28.0×30.0
23	岩田　久利	花器	1989	ガラス	30.0×27.0×26.0
24	岩田　久利	花器	1989	ガラス	23.0×21.0×19.0
25	岩田　久利	花器	1990	ガラス	35.0×31.0
26	岩田　久利	水指	1991	ガラス	17.0×13.0
27	岩田　久利	花器（空色捻文花生）	1993	ガラス	25.0×21.0
28	岩田　久利	水指	1993	ガラス	20.0×19.5
29	高浜　かの子	花ごま		人形	24.5×12.2×11.4

〈書〉

1	奥田　家山	あかね集	1947	紙・墨	各 31.7×22.0
2	奥田　家山	般若波羅密多	1949	紙・墨	34.0×118.0
3	奥田　家山	写経	1951	紙・墨	27.8×143.0
4	奥田　家山	木簡	1986	木、皮・墨	25.5×61.0
5	奥田　家山	明治百二十年讃歌	1987	紙・墨・屏風	124.5×354.0
6	奥田　家山	竹取物語	1988	紙・墨・屏風	26.7×23.7
7	奥田　家山	行成	1989	紙・墨	22.7×101.0
8	奥田　家山	葉	1989	紙・墨	35.9×149.8
9	奥田　家山	奉祝皇太子	1993	紙・墨	26.6×149.9
10	奥田　家山	岬	1995	紙・墨	72.5×64.5
11	奥田　家山	天つ神	1997	紙・墨	41.2×134.5

□ 管理運営 □

□ 運営方針 □

■機　　構

組織及び事務分掌（15.3.31現在）

館　　長

副館長(1)

＊庶務課長を兼務

庶務課(5)　課長(副館長兼)1、主査1
主任主事2、主任用務員1

・文書の収受、発送、整理及び保存に関すること
・予算の経理、決算その他会計事務に関すること
・職員の給与、服務その他の人事及び福利厚生に関すること
・関係機関及び団体との連絡調整に関すること
・千葉県立美術館協議会に関すること
・個人情報等に関すること
・教育財産管理に関すること
・その他他の課に属さない事務

副館長(1)

＊学芸課長を兼務

普及課(5)　課長1、上席研究員4

・講演会、講座等の企画・運営に関すること
・年報、館報等の編集及び発行その他広報普及活動に関すること
・美術資料及び情報の整理及び公開利用に関すること

学芸課(5)　課長(副館長兼)1
上席研究員3、研究員1

・美術資料の収集、保管及び展示に関すること
・美術館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること
・特別展覧会等の開催に関すること
・美術館資料の貸借に関すること

千葉県立美術館協議会(10)

館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から10人を県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

館の活動に提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞会の開催・会報の発行などを行っている。

■平成１４年度職員

館　　長		中　村　　哲
副　館　長		
兼庶務課長		御園生　光　江
副　館　長		
兼学芸課長		藤　川　正　司

庶務課

副　主　査	（派）	石　井　弘　美
主任主事	（〃）	奈良輪　和　美
主　　事	（〃）	松　嶋　美　香
主任用務員	（〃）	長　島　則　子

普及課

普及課長		志　田　　光
上席研究員	（派）	黒　川　利　也
〃	（〃）	田　村　俊　雄
〃	（〃）	丸　山　徳　日
〃	（〃）	加　藤　美代子

学芸課

上席研究員	（派）	濱　松　繁　雄
〃	（〃）	相　川　順　子
〃	（〃）	幅　　大
研　究　員	（〃）	石　崎　千津子

嘱　託　野村吉治

増田眞一

■県立美術館協議会委員（五十音順）

秋　田　敏　彰	日本放送協会千葉放送局長
加曽利　和　夫	千葉県立美術館友の会事務局長
門　倉　武　夫	東京国立文化財研究所名誉研究員
川　津　幸　枝	全日本書芸文化院常任理事
佐々木　大治郎	八街市立八街中学校教諭
白　石　　靖	前千葉県高等学校文化連盟事務局長
積田勝雄（鰹士）	千葉県美術会会長
中　村　千鶴子	千葉県社会教育委員
西　村　美和子	千葉県経営者協会 地域経済委員会委員
藤　森　直　樹	千葉県立千葉高等学校教諭

■利用状況

入館者数一覧（平成14年度）

種別／月	開館日数	個人			団体						人数合計
		一般成人	大・高生	中・小生	一般成人		大・高生		中・小生		
					人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	
4	25	6,823	142	550	220	7	0	0	0	0	7,735
5	27	12,575	125	971	149	4	0	0	293	2	14,113
6	26	12,027	166	2,049	373	12	0	0	91	2	14,706
7	26	9,041	379	2,575	239	7	0	0	105	4	12,339
8	27	10,290	382	3,866	223	8	0	0	70	2	14,831
9	25	12,433	712	1,600	273	7	0	0	123	3	15,141
10	20	18,812	318	685	347	11	180	1	238	3	20,580
11	25	10,710	1,172	540	391	10	1	0	560	7	13,374
12	21	19,219	320	11,296	84	2	0	0	286	7	31,205
1	23	6,725	86	391	31	1	0	0	0	0	7,233
2	24	9,606	569	1,402	240	6	0	0	471	7	12,288
3	25	9,168	136	1,284	78	2	0	0	0	0	10,666
計	294	137,429	4,507	27,209	2,648	77	181	1	2,237	37	174,211

開館以来　総開館日数　8,317 日　　総入館者数　4,834,281 人

地域別入館者数

種別／月	開館日数	県内		県外		外国	合計
		千葉市	その他	東京都	その他		
4	25	3,530	3,265	320	611	9	7,735
5	27	6,843	5,685	786	790	9	14,113
6	26	6,558	7,136	402	599	11	14,706
7	26	4,921	6,377	611	419	11	12,339
8	27	6,605	7,077	525	624	0	14,831
9	25	5,637	8,230	327	945	2	15,141
10	20	8,365	11,241	400	574	0	20,580
11	25	4,073	8,706	174	421	0	13,374
12	21	3,719	27,164	146	176	0	31,205
1	23	3,540	3,324	142	227	0	7,233
2	24	5,390	6,253	284	361		12,288
3	25	4,483	5,578	243	338	24	10,666
計	294	63,664	100,036	4,360	6,085	66	174,211

■展示室利用団体

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第26回鳳聲会書作展	4/9～14	書	78
2 第72回郷陽会展	4/9～14	洋画	230
3 第16回ガラス絵コクリコ会展	4/9～14	ガラス絵	50
4 書道芸術院創立55周年記念南関東総局展	4/16～21	書	364
5 第29回千虹会日本画展	4/16～29	日本画	45
6 MUSABI展	4/23～29	日本画・洋画	50
7 第29回千葉新協展	4/23～29	洋画	145
8 第28回歩会彫刻展	4/23～5/6	彫刻	45
9 第33回表美展	5/1～6	表装・額装・屏風	100
10 第16回カラーダスト展	5/1～6	洋画	50
11 第16回千葉水彩展	5/8～12	洋画	90
12 第13回千葉県木彫会展	5/8～12	彫刻	55
13 第26回墨の県展	5/14～19	水墨画・洋画・その他	340
14 第42回千葉アマチュア美術会展	5/21～26	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・その他	1544
15 第47回二科会千葉支部展	5/28～6/2	洋画	753
16 第28回貘展	5/28～6/2	日本画・洋画・彫刻・工芸・写真	49
17 第27回関東全展	6/4～9	日本画・洋画・工芸	140
18 第17回日本画四季展	6/4～16	日本画	59
19 千葉幼児美術展	6/4～9	絵画・その他	1500
20 第24回新槐樹社千葉県支部展	6/11～16	洋画・彫刻	53
21 第25回千葉一陽展	6/11～16	洋画	213
22 第49回千葉県書道協会展	6/18～23	書	515
23 第30回水彩連盟千葉支部展	6/25～30	洋画	72
24 第47回千葉二紀会展	6/25～30	洋画	91
25 第46回千葉県小中学校書写展覧会	7/2～7	書	1100
26 〈明日を拓く〉教育美術展	7/2～7	絵画・その他	890
27 精鋭展	7/2～7	洋画	95
28 第34回千葉市水墨画同好会連合会展	7/9～21	水墨画	397
31 第31回写真千葉県展	7/23～8/4	写真	290
29 第107回習美会初夏大作展	7/23～28	日本画・洋画・その他	207
30 第18回日本水彩画会千葉県支部展	7/23～28	洋画	78
32 第22回日本春秋書院千葉書連展	7/30～8/4	書	137
33 日本武道館武道学園書道展	7/30～8/4	書	120
34 第40回新世紀美術協会千葉支部展	8/6～11	洋画	75
35 第一美術協会千葉県支部展	8/6～11	洋画・工芸	117
36 第36回漱雲会全国書道展	8/6～11	書	421
37 第32回いてふ会彫刻展	8/13～25	彫刻	48
38 第19回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/20～25	絵画	684
39 第12回太平洋美術会千葉支部展	8/20～25	洋画・彫刻・工芸	187
40 第31回千葉硯心会書展	8/20～25	書	48

41	第42回白扇書道会展	8/27～9/1	書	2938
42	第25回等迦会千葉県支部展	9/3～8	洋画	51
43	第32回新構造千葉県支部展	9/3～8	洋画・彫刻・工芸	111
44	葉美会展	9/3～8	日本画・洋画・その他	83
45	第35回千葉県高校芸術祭「合同写真展」	9/10～16	写真	619
46	第52回デザイン展　CHIBA	9/18～23	デザイン	126
47	第19回中央美術協会千葉支部展	9/18～23	日本画・洋画	173
48	第25回千葉県写真展	9/18～29	写真	185
49	第49回千葉県勤労者美術展	9/25～29	洋画・書・写真	250
50	第13回千葉県教育芸術祭	10/1～6	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・そ	953
51	第22回二科会写真部千葉支部展	10/1～6	写真	84
52	第54回千葉県美術展覧会(県展)	10/12～11/4	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2849
53	千葉県高校芸術祭「美術工芸書道作品展」	11/7～17	洋画・彫刻・工芸・デザイン・書・その他	2778
54	第34回ファンシー洋画展	11/19～24	洋画	73
55	第29回文化書道千葉県連合会公募展	11/19～24	書	352
56	第34回千葉現展	11/26～12/1	日本画・洋画・写真・その他	67
57	第47回こども県展	12/3～15	絵画	8976
58	第30回富士百景写真展	1/7～13	写真	92
59	第38回登龍社書初展	1/7～13	書	307
60	第20回千葉県医師会美術展	1/21～26	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・そ	139
61	群鴎書人展	1/28～2/2	書	60
62	第18回書星選抜展	1/28～2/2	書	162
63	第55回千葉県小中高校書き初め展覧会	2/4～9	書	681
64	子ども造形展	2/4～9	絵画・彫刻・デザイン・立体・その他	1600
65	ダネラ展	2/4～9	工芸	42
66	千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/11～16	洋画・彫刻・デザイン・工芸・その他	56
67	千葉大学教育学部第36回学生書道展	2/11～16	書	133
68	千葉県立幕張総合高等学校書道展	2/11～16	書	93
69	千葉日報書道展	2/18～23	書	491
70	第32回千葉県大学美術連盟展	2/25～3/2	日本画・洋画・工芸・書・写真	92
71	第14回日本童謡の書展	2/25～3/2	書・その他	1981
72	第8回翔洋展	3/4～9	洋画	49
73	第28回千葉県民写真展	3/4～9	写真	639
74	和洋女子大学卒業展	3/4～9	書	40
75	第26回唱和会書展	3/11～16	書	171
76	第6回平成美術会展	3/18～23	洋画	172
77	第50回書星教育部展	3/25～30	書	1169

施　　設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル一先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、炻器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm 程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m ～ 2.0m ／ h の速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防げ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟は CAV（定風量型）＋ VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV 方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つ VAV 方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人口光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収のアクリル拡販板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は 8 時から 15 時の間で 10 %の時間が 80,000lx 以上、30 %の時間が 50,000lx 以上、50 %の時間が 25,000lx（平均）以上、90 %の時間が 5,000lx 以上という測定値があり、また水平面照度にしても 50,000lx（薄暗）から 5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度 60,000lx 以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（通過率 53.6 %）と黒地のジョーゼット（通過率 35 %）の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第 1、2 展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高 200lx に押えてある。

固定ケースは基準照度を 180lx に設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：（株）竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

　　衛生＝第一管工事（株）

　　電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87 ㎡
建築面積	8,777.94 ㎡
延床面積	10,663.57 ㎡
展示棟	6,343.02 ㎡
管理棟	2,818.89 ㎡
県民アトリエ棟	1,501.66 ㎡
駐車台数	97 台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事（展示棟）5,194.59 ㎡

（建築面積 5,102.35 ㎡）

○工　期　昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費　775,967千円

本体工事	425,230千円
電気設備工事	79,663千円
空調設備工事	166,493千円
給排水衛生設備工事	28,995千円
外溝工事	67,705千円
ガス工事	7,881千円

(2) 第2期工事（管理棟）　2,274.60 ㎡

（建築面積 1.089.50 ㎡）

○工　期　昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費　453,800千円

本体工事	307,500千円
電気設備工事	30,000千円
空調設備工事	79,000千円
給排水衛生設備工事	19,514千円
外溝工事	17,786千円

(3)第3期工事（県民アトリエ）1,501.66 ㎡

（建築面積 1,449.34 ㎡）

○工　期　昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費　370,000千円

本体工事	265,300千円
電気設備工事	35,000千円
空調設備工事	56,200千円
給排水衛生設備工事	13,500千円

○工　期　昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費　8,000千円

外構工事	8,000千円

(4) 第4期工事（第8展示室 1,148.43 ㎡

収蔵庫 544.29 ㎡）1,692.72 ㎡

（建築面積 1,136.75 ㎡）

○工　期　昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費　747,500千円

本体工事	476,000千円
電気設備工事	81,000千円
空調設備工事	171,000千円
給排水衛生設備工事	19,500千円
総工事費	2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL － 5.00m

高　さ：GL ＋ 15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋　　根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A 種・普通コンクリート（基礎・地中梁・1 階スラブ）

Fc ＝ 210kg／cm^2

B種・軽量コンクリート（梁・スラブ用・地上部）

Fc ＝ 300kg／cm^2

C種・軽量コンクリート（地上部躯体で AB 以外の梁・壁など）Fc ＝ 240kg／cm^2

〈設備〉

【電気設備】

受 電 方 式：交流3相3線式 6,000V　50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟＝ CAV（定風量型）＋ VAV（可変風量型）方式

管理棟＝ VAV 方式

保管庫＝露点再熱制御方式

県民アトリエ棟＝各室ハンドリング方式

熱　　源：空気熱源スクリュー熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給　　水：ポンプ圧送方式、引込み管径 75mm

排　　水：汚水・雑排水合流方式系統（管径 300)、雨水系統（管径 300）別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙（第1、2、7展示室）

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備（ハロゲン 1301）

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力　100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防 犯 設 備：ITV カメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規　　模：容量 3,000kg

カゴ内法＝ 3,000mm × 3,000mm × 3,000mm

速度 30m ／ min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室（新）	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E．V機械室	27.28㎡
E．V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡
計 ①	**6,343.02㎡**

管理棟

（1階）

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡
小計	1,183.85㎡

（2階）

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E．V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃 B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽその他	3.56㎡
小計	1,635.04㎡
計 ②	**2,818.89㎡**

県民アトリエ棟

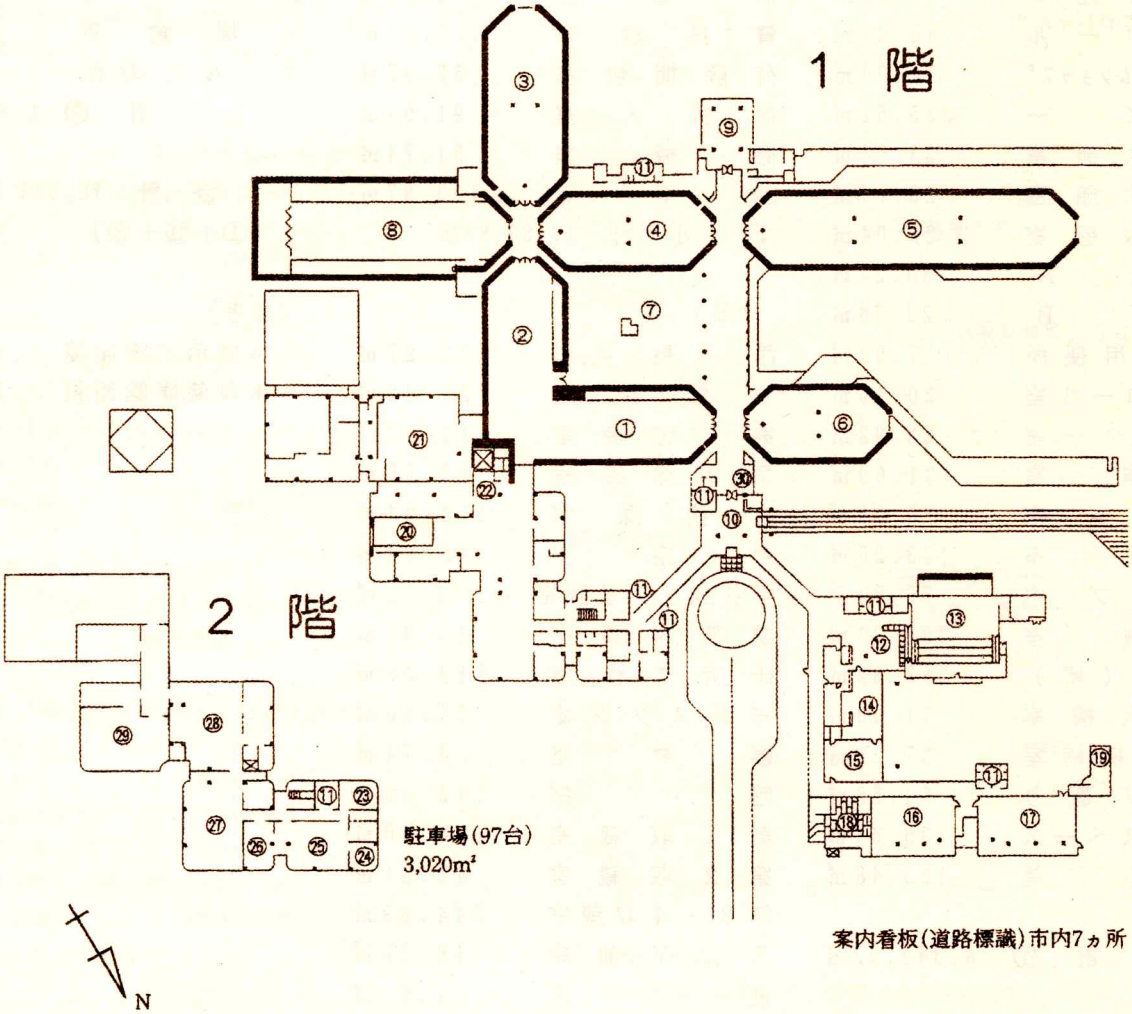
1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡
計 ③	**1,501.66㎡**

合計 10,663.57㎡
（①＋②＋③）

〈参考〉
＊展示室総面積 4,296.30㎡
＊収蔵庫総面積 771.50㎡

内容

①～⑧ 展示室
⑨ 食堂（44席）
⑩ 玄関ホール
⑪ トイレ
男子用6か所
女子用6か所
身障者用2か所
⑫ ホール
⑬ 講堂（200人）
⑭ 情報資料室
火～金
12:30～16:30
土・日・祝日
9:00～16:30
⑮ 研修室（40人）
⑯～⑱ 実技室
⑲ 窯場
⑳ 搬出入口
㉑ 機械室
㉒ エレベーター
㉓ 館長室
㉔ 副館長室
㉕ 庶務課
㉖ 会議室
㉗ 学芸課・普及課
㉘ 研究工作室
㉙ 収蔵庫
㉚ ミュージアムショップ



案内看板(道路標識)市内7ヵ所

関係法令等

1 博物館管理規則

昭和45年千葉県教育委員会規則第22号

（目的）

第1条　この規則は、教育機関設置条（昭和32年千葉県条例第4号）第20条に規定する博物館（以下「館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条　館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2　館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条　館の休館日は、次のとおりとする。

一　定期休館日　月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する日に当たるときは、その翌日）

二　国民の祝日に関する法律に規定する休日

三　年始休館日　1月1日から1月4日まで

四　年末休館日　12月26日から12月31日まで

五　臨時休館日　特別の事情により、館長が休館を必要と認めた日

2　前項の休館日であっても、館長が特に必要と認めた場合は、館の全部又は一部を開館することがある。

（入館の制限）

第4条　館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

一　特別展覧会又は現代産業科学館の映像ホールを観覧しようとする者で、所定の観覧券を所持しない者

二　適当な指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

三　泥酔者、伝染病患者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

（観覧券等）

第5条　館の特別展覧会観覧券は、別記第1号様式とする。

2　現代産業科学館の映像ホール観覧券は、別記第2号様式とする。

3　団体（20人以上の場合をいう。）で観覧しようとするときは、あらかじめ団体観覧申込書（別記第3号様式）により、館長に申し込まなければならない。

（禁止行為）

第6条　入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

一　展示品に手をふれること及び展示室でインク、墨汁類を使用すること。

二　許可なくして展示品を模写し、又は撮影すること。

三　所定の場所以外の場所において喫煙又は飲食すること。

四　その他他の入館者の妨げになるような行為をすること。

（損害の賠償）

第7条　館長は、入館者が館の展示品、建物若しくは備品等をき損し、又は汚損したときは、現品又は相当の代価をもって弁償させることがある。

（委任）

第8条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長の承認を得て、館長が定める。

附　則

この規則は、昭和46年1月15日から施行する。

別記様式（省略）

2 使用料及び手数料条例（抜粋）

昭和31年千葉県条例第6号

（趣旨）

第1条　県が徴収する使用料及び手数料（以下「使用料等」という。）に関しては、別に規定するもののほか、この条例の定めるところによる。

（使用料等の徴収）

第2条　県が所有し、又は管理する行政財産及び公の施設（以下「財産等」という。）の使用並びに特定の個人のためにする事務（以下「事務」という。）に関し、法令及び他の条例に規定するもののほか、当該財産等を使用しようとする者から使用料を、当該事務を依頼しようとする者から手数料を徴収するものとする。

（種類及び額）

第3条　前条の規定により使用料等を徴収する財産等及び事務の種類並びにその使用料等の額は、別表第一に掲げるとおりとする。

（中略）

（徴収の特例）

第8条の2　県民の日を定める条例（昭和59年千葉県条例第3号）に規定する県民の日その他規則で定める場合において、県の設置した公の施設で、規則で定めるものに係る使用料については、第2条及び第3条の規定にかかわらず、これを徴収しない。

別表第一（抜粋）

財産又は事務の種類	使用料等	区分	単位	額
博物館	入場料	特別展覧会	1人1回につき	1,000円以内

（以下省略）

3 使用料及び手数料条例施行規則（抜粋）

昭和31年千葉県規則第29号

（徴収の特例）

第9条　条例第8条の2の規定による規則で定める場合及び規則で定めるものは、別表第三のとおりとする。

別表第三（抜粋）

行事等	施設
県民の日（6月15日） 65歳以上の者、身体障害者（介護者を含む。）又は知的障害者が使用する場合	博物館

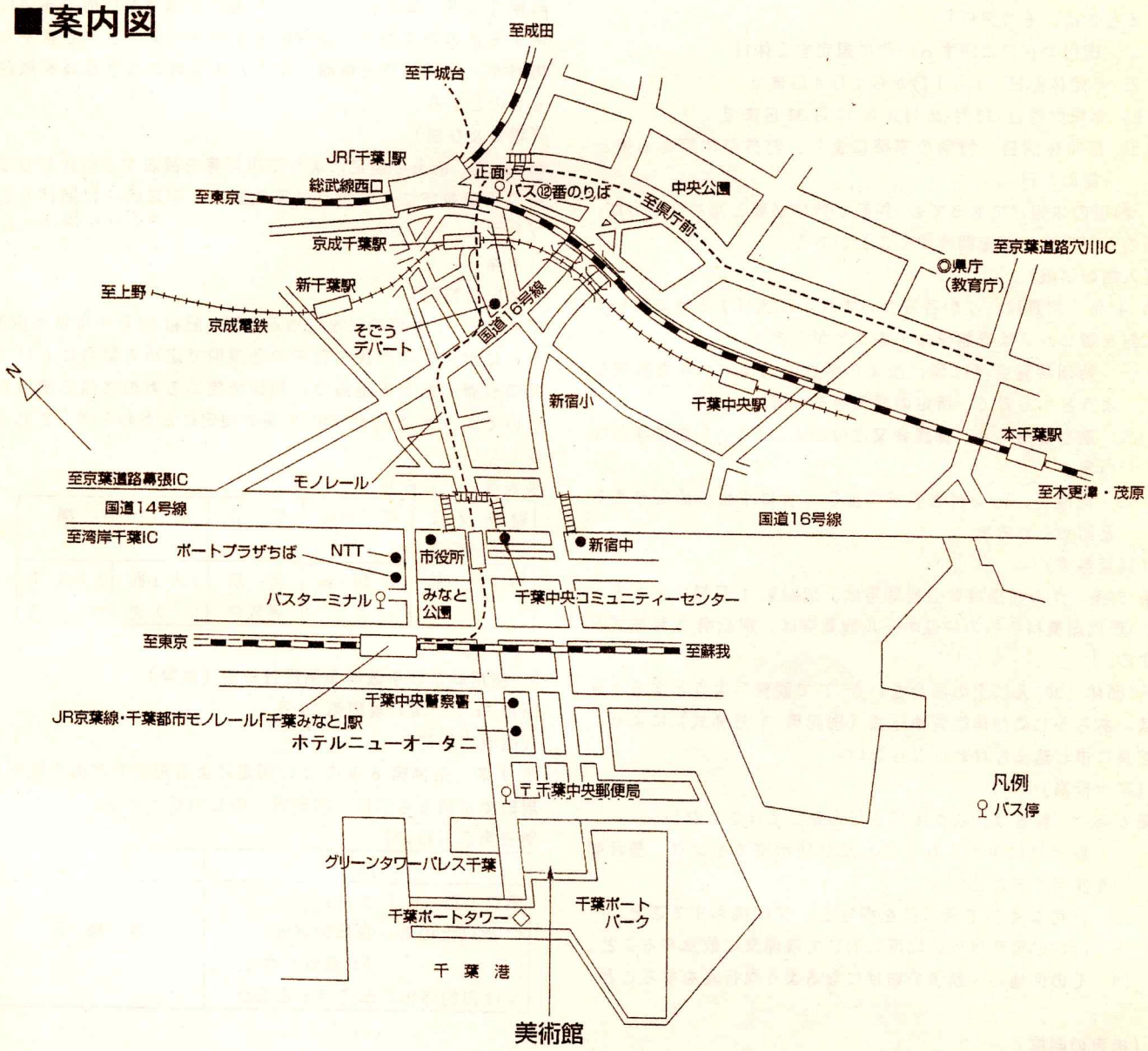
■開館時間

開館時間　午前９時から午後４時30分まで
休館日　・月曜日（ただし，月曜が祝日のときは開館し,翌日休館）
・年末年始（12月26日～１月４日）
・展示替え等のため，必要があるとき。
観覧料　無料（ただし，特別展は有料）

■交通

★JR(京葉線)・千葉都市モノレール「千葉みなと」駅下車，徒歩８分。
★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車
●徒歩23分。
●バス⑫番のりばから「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局前」下車，徒歩１分。
★〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分
★〈成田方面から〉京葉道路「穴川」I.Cから約20分
★〈東金方面から〉京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分

■案内図



平成14年度　千葉県立美術館年報（No. 29）
平成15年9月1日発行
発行者　千葉県立美術館
〒260-0024　千葉市中央区中央港1-10-1
ＴＥＬ　043（242）8311
ＵＲＬ　http://www.chiba-muse.or.jp/ART/index.htm